



こんにちは。  
町長です。

## GIGA(ギガ)スクール構想の推進について

新型コロナウイルス感染症の拡大による対応で、町内の小・中学校は3月2日から休業となり、春休みを挟んで5月いっぱいまで継続されました。

このような3か月間に及ぶ学校の休業は前例のないことで、それも何の準備期間もない中で始まりましたので学校の混乱は相当であったと思います。児童生徒をはじめ保護者の皆様も大変困惑し、不安な期間を過ごされたものと存じます。

この休業期間中、各学校では児童生徒と関わる機会を少しでも確保するため、学校のホームページのブログでメッセージを送ることや、週1回の登校日を継続して行い、児童生徒の状況把握に努めるとともに学習課題の提示・回収、家庭生活ルールの指導等をして教育活動に努めて参りました。

町でも休業中の児童生徒の昼食支援等の目的で、町内旅館民宿業者等の協力を得て小・中学生応援配食事業を4月23日から5月29日までの平日23日間、実施いたしました。

6月からは学校再開となりましたが、新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況が続いており、学校においても「3つの密」を避ける工夫や「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染症対策を徹底するとともに、「新しい生活様式」を踏まえた教育活動を推進しております。

また、今回の休業中、国内ではICT機器を活用したオンライン学習に取り組んだ学校が見受けられました。町内の学校では、授業は実施できませんでしたが、朝の会等は可能な範囲で実施した学校もございます。

ところで、国では昨年12月に「GIGAスクール構想」を打ち出し、全国の小・中学校で高速な校内ネットワークと児童生徒1人1台のコンピューター端末を整備する計画が動き始めました。当初の予定は令和5年度までの4か年間で順次端末を整備する予定でしたが、今回の感染症の拡大でオンライン学習が注目を浴び、そのため国は計画を変更し、令和2年度中に前倒して整備を進めることになりました。

町でも、このような国の動向を踏まえ、全児童生徒に1人1台のコンピューター端末を本年度内に配備するための備品購入費や学校ネットワーク環境整備工事等をすすめる費用を含む補正予算を6月町議会で可決いただきました。現在、年度内の事業の完成を目指して鋭意進めております。

この事業が完成すれば、感染症で再び休校措置がとられた場合、家庭でもオンライン学習等が出来るようになります。なお、ネットワーク環境がない家庭における対策も進めたいと存じます。今後、学校においてはオンライン学習のための準備等もしっかり進めることとなっています。3か月の休業は大変厳しい状況ですが、町としても、全力で子どもたちの学びを支えて参ります。

小鹿野町長 森 真太郎